

## 財団法人鈴鹿市文化振興事業団 平成24年度事業実績

事業名		開催時期・開催回数	会場	入場料・参加料	参加人数/定員	内容	
鈴鹿市民シアター	1	野村万作萬斎 狂言の現在2012	4月20日	鈴鹿市文化会館 けやきホール	指定席 6,000円	501/505	野村萬斎の12年ぶりとなる鈴鹿公演。今回は、父であり人間国宝の野村万作との共演でさらにすばらしい舞台となった。チケットもほぼ即日完売。公演のニーズは非常に高いため、今後も継続したい事業である。
	2	0歳児から入れる 親と子のコンサート	5月13日	鈴鹿市民会館	自由席 一般 1,500円 中学生以下 500円	692/1278	特定非営利活動法人こどもサポート鈴鹿との共催事業。0歳児から親子で入れるクラシックコンサートとして、雑誌やラジオなどでも取り上げられた。生演奏による、本格的なクラシックからジブリの音楽までレパートリー幅広く、小さいお子さんから大人まで楽しめる内容となった。
	3	ファミリーミュージカル 劇団東少 「眠れる森の美女」	7月21日 2回公演	鈴鹿市文化会館 けやきホール	指定席 一般 2,500円 中学生以下 2,000円	266/970	親子向けミュージカルの第2弾、シャルル・ペローの原作「眠れる森の美女」を、劇団東少が、オリジナルに脚色創作。気軽に親子で楽しめる夏休みの公演を目指したが、集客が伸び悩み苦戦となった。
	4	外山啓介ピアノ・リサイタル「展覧会の絵」	7月27日	鈴鹿市文化会館 けやきホール	指定席 一般 3,000円 高校生以下 1,500円	217/500	デビュー5年をむかえる若手実力者ピアニスト、外山啓介によるピアノ・リサイタル。妥協のない完璧な演奏に観客の大絶賛を浴びた。各業界券売が厳しく、特にクラシックは厳しいところだが、本物の音楽を聴かせる機会は、少しでも続けていきたい。
	5	ペットボトルダンス公演 「DanceEXPRESSION in Suzuka 2012」	9月2日	鈴鹿市文化会館 けやきホール	自由席 1,000円	267/488	小学生対象の子どもの部は、ペットボトルダンスワークショップ。中学生以上の大人(一般)の部では、言語ゲームを使ったダンスと分かれて、それぞれ5日間で、ひとつの舞台を完成させた。その成果の発表とプロとの共演というステージに挑む姿は、みなさんとてもイキイキとして、楽しそうであった。
	6	ブラネタリウム ワンコイン・コンサート	10月3日	鈴鹿市文化会館 ブラネタリウム	自由席 500円	180/180	地元鈴鹿や近隣で活動する、アーティストとブラネタリウムという施設を活かしたコラボコンサート。初めての試みとなる第1回目の演奏者は、「アンデスの響き」というタイトルで、あべつち宮原の笛を中心とした自ら製作した楽器を演奏。会場は、満員であった。
	7	第8回けやき寄席 柳家三三 桂吉弥 二人会	10月14日	鈴鹿市文化会館 けやきホール	指定席 3,500円	254/500	東西の若手注目落語家、柳家三三・桂吉弥の競演。テンポよく、しかしじっくり聞かせる江戸落語と、出囃子も華やかに、鳴り物を活かした上方落語。それぞれの違いや、面白さを堪能できる落語会となった。
	8	わらび座ミュージカル「おもひでぼろぼろ」	12月2日	鈴鹿市民会館	指定席 4,000円 自由席 3,000円 高校生以下当日1,000円返却	321/1206	美しい東北の復興を願って舞台を届けている秋田の劇団わらび座が全国へ発信のミュージカル。市民と協働の実行委員会にて運営。入場者数は伸びなかったが、東北と鈴鹿の温かさが融合した公演となった。また前日には、地元住民に密着した催し「鈴鹿小劇場」を一ノ宮団地解放センターにて開催。
	9	吹奏楽フェスティバルin鈴鹿	12月16日	鈴鹿市民会館	自由席 500円	952/1278	吹奏楽が盛んな鈴鹿市ならではの祭典。市内より白子高校・千代崎中学・玉垣小金管バンドが、県外から、実績のある岡崎市の光ヶ丘女子高校を招き各出演校熱のこもったすばらしい演奏に、お客様も出演者も一緒に大盛り上がりになったフェスティバルとなった。鈴鹿市の吹奏楽のすそ野が広がると同時に、鑑賞する側と演奏する出演者を更に育てることにつながればと考えます。

10	コンチネンタルファミリー ウイズ 鈴ゴス クリスマスコンサート	12月22日	鈴鹿市文化会館 けやきホール	自由席 1,000円	405/500	プロのゴスペルグループとゴスペルワークショップ100人を超す参加者との共演のクリスマスコンサート。7年目を迎え益々盛り上りをみせた、鈴鹿ならではの恒例のコンサート。	
11	スイーツ&カフェコンサートVol.3	3月21日	鈴鹿市文化会館 けやきホール・さつきプラザ	スイーツ付き2,000円 スイーツなし前売り1,200円 当日1,500円	107/500 スイーツ付きは120枚限定	クラシックコンサートと地元スイーツ店のケーキ&飲み物を楽しむ、平日昼間に時間がある方向けの独自企画。他公演の影響もあり入場者が減少したが、国際色豊かなドイツ在住のトリオ・アラクリスの演奏とトレイズのスイーツは、観客を魅了した。	
共催							
12	「エクレールお菓子放浪記」上映会	8月1,2日は3回 8月3日は4回 計10回上映	鈴鹿市文化会館 けやきホール	自由席 前売り1,000円 当日1,500円 高校生以下800円	2,565/5,000	東日本大震災前の石巻市を中心に撮影された戦争時代を生き抜いた孤児の物語。全国各地で上映され、鈴鹿市上映実行委員会と共催。自治会等各種団体の券売、事業団は、一般窓口販売を担当。3,865枚の売り上げより579,945円が震災義援金として被災地に送られた。	
13	米村でんじろうサイエンスショー	8月26日 2回公演	鈴鹿市民会館	指定席 2,500円	1806/2,556	中日新聞社との共催による、親子向けサイエンスショー。昨年度に引き続き2回目となる今回は、オリジナルの実験を交えて科学の不思議や楽しさを親子で再発見していただく機会となった。	
14	ルイーダ・マルティナーレ・ピアノ・コンサート2012鈴鹿	9月17日	鈴鹿市民会館	指定席 一般2,000円 高校生以下1,000円	596/1278	鈴鹿から世界に向けてヨーロッパジャズを発信するアルポーレ・ジャズ(個人レーベル)との共催事業。あまり触れることのないイタリアのジャズピアニストの演奏が身近で聴けたよい機会となった。海外アーティストを単独で招聘することは、なかなか難しいが、それが実現できる共催事業は今後も積極的に取り組んでいきたい。	
15	第1回真山隼人鈴鹿公演	11月25日	鈴鹿市文化会館 けやきホール	自由席 2,500円	451/500	浪曲界に若い旋風を巻き起こす地元アーティスト真山隼人を支援。話題が話題を呼び公演1ヶ月前にはチケット完売。1年だけの一過性にならないよう、今後も地元アーティストのムーブメントを支援したいと考えます。	
16	中村好江わくわくHOT6 CD発売記念コンサート Wonderhul Days	1月27日	鈴鹿市民会館	自由席 CD付き5,800円CDなし3,900円小学生以下無料	429/1249	鈴鹿ときめきカルチャー大使の中村好江、ファーストCD完成を記念したコンサート。チケット単価がCD付きで高額であったが、地道な宣伝活動で根強いファン層が駆けつけ、コンサートを盛り上げた。今後とも鈴鹿から全国発信アーティストの支援を続けていきたい。	
17	いまいゆうぞう、はいだしょうこファンタジーコンサート	2月10日 2回公演	鈴鹿市民会館	指定席 一般 3,000円小学生以下2,500円	832/2556	NHK「おかあさんといっしょ」元うたのおにいさん、おねえさんによるコンサート。公演対象のお子さんが観ている現放送中の「おかあさんといっしょ」には出演していない為か、券売が伸びなかった。ただNHKの「おかあさんといっしょ」シリーズは人気が高い為、公演告知の方法や内容など検証したうえで、機会があれば今後も取り組んでいきたい。	
鈴鹿文化工房	18	市民大学文芸学科	6月13日 7月11日 8月8日 9月12日 10月10日 11月14日	鈴鹿市文化会館 さつきプラザ	5,000円/6回通し 1回ごとは各1000円	339/600	日々を大切に生き、時代を記録する志を抱いた、近現代作家の生涯を問う「日記文学」をテーマに 6回シリーズで開催。平日の昼間でありながらコンスタントに受講者が集まる、身近で文芸に触れられる人気セミナー。
	19	ライブセミナー	6月16日 7月23日 9月17日 11月19日 1月21日	鈴鹿短期大学 郡山キャンパス 講義室	3,000円/5回通し 1回ごとは各800円	282/750	「人間と法 - 法の究極にあるもの」、「ヘビウリからセイロン瓜へ ~ 鈴鹿から新野菜発信」等、多彩な内容で開催(全5回)

	20	吹奏楽フェスティバルイベント(お出かけコンサート)	10月10日	鈴鹿市立一ノ宮小学校体育館	無料	4年生110 5年生105 6年生111 合計326	12月16日開催の吹奏楽フェスティバルのイベントとしてプロのプラスバンド、ブラック・ボトム・プラス・バンド(B.B.B.B.)によるお出かけコンサートを実施。マーチングでの入場や生の音の迫力に、子どもたちのイキイキとした表情が印象的だった。実際に楽器に触れたり、質問コーナーなどもあり、吹奏楽の楽しさに触れる機会となった。
	21	美術セミナー	11月1日	鈴鹿市文化会館 美術工芸室	無料	64/60	「KATAGAMI Style—海を渡った型紙と欧米の美術との出会い」をテーマに開催。直前の県美術館の展示会、市展の期間中でもあり、たくさんの参加があった。
	22	放送セミナー	1本目: 11月1~7, 16~23日 2本目: 3月1~7, 16~23日	-	-	-	1本目は、鈴鹿墨をテーマに「墨色の美を探求する」を11月に放送。2本目は、型紙をテーマに「なんて素敵 型紙デザイン」を3月に放送。支援として「HondaCars三重北」「鈴鹿オフィスワーク」「JA鈴鹿」「北伊勢上野信用金庫」「椿大神社」「長谷川塗装」の協賛をいただいた。
	23	ペットボトルダンスワークショップ(ペットボトルダンス公演と連動)	8月28日 8月29日 8月30日 8月31日 9月1日 計5回	鈴鹿市文化会館 けやきホール	子どもの部/3,000円 一般の部/6,000円	70	子どもの部44名、一般の部26名、合計70名の参加があり、小学校低学年から70代の方まで、幅広く参加いただいた。子どもの部では、500mlのペットボトルに水を少し入れた物を使い、ダンスは初めてでも簡単に踊れてしまう内容に、一般の部では、身体言語ゲームを取り入れ、曲に合わせてオリジナルの踊りを考え、身体を使って表現することの楽しさを体験するワークショップとなった。
	24	ゴスペルワークショップ(鈴ゴスクリスマスコンサートと連動)	10月28日 11月11日 11月24日 12月9日 計4回	鈴鹿市文化会館 さつきプラザ	4,000円	110/120	7年目を迎える今回も幅広い年齢層で110人の参加者が集まり、熱気のあるワークショップとなった。その熱気が本番のクリスマスコンサートへとつながっていった。
受託事業	25	第45回鈴鹿市美術展(鈴鹿市制70周年記念事業)	作品搬入 10/20~21 審査会 10/23 展覧会 10/31~11/4	鈴鹿市文化会館	出品料1000円 入場無料	出品数 一般 282点 会員 75点 来場者数 3,185人(延べ)	市民を対象とした美術作品のコンクールと優秀作品の展覧会。第45回目は市制70周年記念事業として、各部門に市制70周年記念賞と市内企業賞を設けた。出品数は昨年とほぼ同じであったが高校生の出品が増える等若い世代への参加増があった。
	26	第21回鈴鹿市文芸賞	応募締切 11/9 選考 1/10 贈呈式 3/9	鈴鹿市文化会館	出品料1000円 贈呈式入場無料	出品数 一般 77点 ジュニア 1955点	一般の出品数増はないが、クオリティーの高い作品が集まってきている。ジュニアは学校の協力もあり多数の出品をいただいている。
	27	鈴鹿の街音楽祭(鈴鹿市制70周年記念事業)	11月17, 18日 コンサート 13:00~ 屋外店舗 11:00~	鈴鹿市文化会館	入場無料	2068	市制70周年を記念し開催日を2日間開催。音楽でみんなつながろうをテーマに鈴鹿を中心に活躍する演奏家、学校の児童生徒によるあらゆるジャンルの演奏をけやきホール、さつきプラザ同時進行でたっぷり楽しんでもらった。また、玄関前、道路等屋外も利用し、参加者体験や地元店舗も出店し会場全体が盛り上がった。
広報事業	28	文化情報誌「けやき」	-	-	-	-	「広報すずか」に折込、及び市内外公共施設等に配置、11回発行
	29	ホームページ	-	-	-	-	事業立ち上げごと更新
	30	江島カルチャーセンターの管理運営	-	江島カルチャーセンター(児童図書室、ギャラリー)	ギャラリー貸出は有料	別紙	児童図書の閲覧、貸出 2階ギャラリーの市民文化活動への貸出